

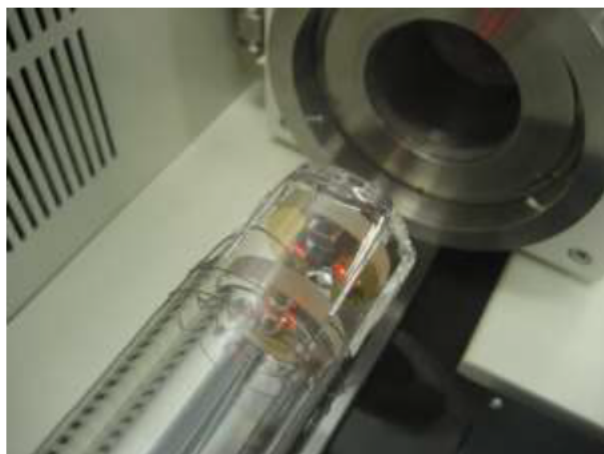
熱膨張測定装置(ディラトメーター)

金属、プラスチック、セラミックス及び複合材料に至るまで、温度変化のある環境で使用する素材全般について加熱・冷却に対する膨張・収縮等の変化の評価を行います。

利用については機器開放、依頼試験で対応いたします。



設置場所: 窯業研究室 2階熱分析室
メーカー名: アルバック理工株式会社
形式: DLY-9600, LIX-2



● LIX-2

非接触式(光学式による絶対熱膨張)
非接触で光の光路差による干渉縞を測定します。熱履歴を受けるのは測定物質のみ被熱するので、熱膨張の絶対量を測定することができます。

主な仕様

検出分解能: 20nm
測定温度範囲: 室温~700°C
真空雰囲気中測定可能



● DLY-9600

押し棒式(差動トランスによる示差熱膨張)
検出棒等も被熱するため、これらの膨張分を差し引くので、示差型と呼ばれています。シンプルな設計であり、試料交換も含め、取扱いが容易です。

主な仕様

検出分解能: 100nm
測定温度範囲: 室温~1000°C
大気、真空、アルゴン、窒素雰囲気中測定可



RING!RING!
プロジェクト
競輪の補助事業

この機器は競輪の補助を受けて導入しました。